

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年6月1日現在

機関番号：14202

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21590561

研究課題名（和文） 医療者と宗教者の協働による緩和医療のための医学教育実践の研究

研究課題名（英文） Practical study on palliative medicine education through teachers for medicine-Religionist Collaboration

研究代表者：

馬場 忠雄（BANBA TADAO）

滋賀医科大学・医学部・学長

研究者番号：40079819

研究成果の概要（和文）：難治性の重篤な患者、末期状態の患者などを支える緩和医療のより望ましいあり方を構築するため、医学・医療を学ぶ者と宗教者が医学教育の場で共に学ぶことを通じて、両者が実践的に協働できるシステムを研究開発し、滋賀医科大学のカリキュラムで実践することができた。

研究成果の概要（英文）：In order to establish more desirable way in palliative medicine which supports with serious patients or terminal patients a system has been researched and developed. Medical course teachers, students, nursing course students and religionist study together in the space for medical ethics class. The system has been successfully put into practice in the curriculum of Shiga University of Medical Science.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2010年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2011年度	1,300,000	390,000	1,690,000
年度			
年度			
総計	3,600,000	1,080,000	4,680,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：緩和医療、医療者と宗教者の協働、医学教育、スピリチュアルペイン、ビハーラ活動

1. 研究開始当初の背景

医学医療者と宗教者が協働して緩和医療の対象となる患者を支えるシステムはいまだ確立されず、また医学教育においてそのようなカリキュラムも開発されていない状態の中、滋賀医科大学では「医の倫理」（医学科 3・4 回生対象必修科目）で、医学・医療を学ぶ者と宗教者が医学教育の場で緩和医療を共に学ぶことから始め、緩和医療における医学医療者と宗教者の協働体制、カリキュラムの開発、緩和医療現場での体験システムなどを模索的に研究し始めた。

2. 研究の目的

難治性の重篤な患者、末期状態の患者などを支える緩和医療のより望ましいあり方を構築するため、医学・医療を学ぶ者と宗教者が医学教育の場で共に学ぶことを通じて、両者が実践的に協働できるシステムを研究し、医学教育のカリキュラムに提供するのが本研究の目的である。

3. 研究の方法

定期的で開催する研究会で医学・医療を学ぶ者と宗教者との協働に関する緩和医療のあり方についての問題を提起・検討・確定した基本方針をもとに、1.滋賀医科大学で開講される緩和医療の講義を学生・院生と医学医療者との協働を志す宗教者との合同講義として実施、その総括をもとに次年度のカリキュラムを作成し実施する。2.その経緯と講義参加者（学生・院生と宗教者）のアンケートに基づく研究発表と論文作成。3.全国各地で緩和医療を学ぶ宗教者のための講習会を開催し、上記研究会の成果を還元する。

4. 研究成果

医学医療者と宗教者が協働して緩和医療の対象となる患者を支えるシステムの理論を研究し学会誌などに発表した。その研究に基づき滋賀医科大学でのカリキュラムに以下の新たな方法を導入し、緩和医療における新たな展望を切り開いた。

1. 緩和医療における「チーム医療」の確立をめざし、医学医療の基礎を学ぶ医学科 1 回生「医学概論 I」と看護学科 1 回生「看護学原論」の合同講義を実施し、緩和医療で活躍している宗教者を外部講師として招聘した。
2. この講義の実践として 1 回生夏休みの「早期体験学習」を医学科と看護学科の合同で実施し、また緩和医療病棟での実習指導を行った。

3. 専門科目では「医の倫理 III」を医学科 4 回生と看護学科 4 回生の合同講義として開講し、この講義に全国から緩和医療を実践している宗教者も参加。それぞれ異なる視点から緩和医療について具体的な症例をもとに討議と理解を深めることができた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

- ① 早島理
改正脳死・臓器移植法と生老病死、行信学報 24、査読無、2011、1-36
- ② YOSHIHIRO MARUO, HIROSHI SATO, et al
Inhibitory Effect of 5 α -Pregnane-3 α , 20 α -Diol on Transcriptional Activity and Enzyme Activity of Human Bilirubin UDP-Glucuronosyltransferase、Pediatr Res 査読有、70-5、2011、453-457、
- ③ Yokoo, M., et al.
Rotavirus disease burden and molecular epidemiology in children with acute diarrhea age less than 5 years in Nepal、Journal of the Nepal Paediatric Society 31-3、査読有、2011、209-215
- ④ 長倉伯博
生きるということ、真実心 32、査読無、2011、53-104
- ⑤ 横尾美智代・早島理
医学科学生の生命倫理に対する考え方の変化、医学哲学医学倫理 28、査読有、2010、83-92

〔学会発表〕（計 2 件）

- ① 横尾美智代他 1 名
乳幼児の身近なケアに対する保護者の知識力向上のための調査、第 58 回日本小児保健協会学術集会、2010、9、2 愛知
- ② 横尾美智代、早島理
医学科学生の生命倫理に対する考え方の変化、第 28 回日本医学哲学医学倫理学会大会 2009、10、31 滋賀

〔図書〕（計 1 件）

- 馬場忠雄
『「医療者と宗教者の協働による緩和医療のための医学教育実践の研究」報告書』
2012,3 私家版

6. 研究組織

(1) 研究代表者

馬場 忠雄 (BANBA TADAO)
滋賀医科大学・医学部・学長
研究者番号：40079819

(2) 研究分担者

早島 理 (HAYASHIMA OSAMU)
滋賀医科大学・医学部・教授
研究者番号：60108272

佐藤 浩 (SATO HIROSHI)
滋賀医科大学・医学部・教授
研究者番号：90090430

丸尾 良浩 (MRUO YOSHIHIRO)
滋賀医科大学・医学部・講師
研究者番号：80314160

長倉 伯博 (NAGAKKURA NORIHIRO)
滋賀医科大学・医学部・非常勤講師
研究者番号：60437142

横尾 美智代 (YOKOO MICHIO)
活水女子大学・健康生活学部・准教授
研究者番号：00336158

(3) 連携研究者 無し

()

研究者番号：